

大阪広域水道企業団とは

大阪広域水道企業団は、大阪府営水道を引き継ぐ団体として、2010年度に大阪府内の42市町村が共同で設立した一部事務組合（特別地方公共団体）です。

2011年度から、水道用水を42市町村に供給する「水道用水供給事業」と工業用水を府内の事業所にお届けする「工業用水道事業」を実施するとともに、2025年4月1日現在、府内10市8町1村（岸和田市、八尾市、富田林市、柏原市、高石市、藤井寺市、泉南市、四條畷市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村）を対象に、ご家庭などに水道水をお届けする「水道事業」を実施しています。



大阪広域水道企業団理念

人と技術でつながる 広がる 水の未来

水道は、人々のいのちと暮らし、社会経済活動に欠かせない重要インフラです。

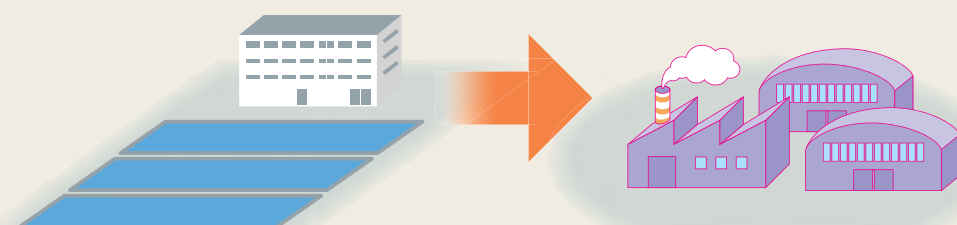
大阪の水道を支える大規模水道事業体として、私たちが将来に向けて最も大切にしていこう考え方を大阪広域水道企業団の理念として掲げています。

将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給し続けるという使命を果たすため、水道を取り巻く様々な課題に対応し、長期的なビジョンを持って取り組みます。

水道用水供給事業・水道事業



工業用水道事業



P.21 ▶ 22
産業を支える水



P.23 ▶ 24
地震・災害に強い
水道をめざして



P.25 ▶ 26
環境にやさしい
水づくり



P.27
広報活動・
国際貢献



P.28
水源の状況



P.29
旧大阪府水道部・
大阪広域水道企業団の
あゆみ



P.30
所在地一覧